



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

「どやばいら」「危ないだに～」

遠州弁標語で事故防止

浜松市東区協議会交通安全委員会と交通安全協会浜松地区支部が、遠州弁の交通安全標語を作り、事故防止啓発活動を開催している。「どやばいら」「危ないだに～」。同市は10万人当たりの人身事故発生件数が20政令市で7年連続最多で、東区は行政区別で最も発生率が高い。敬老の日（19日）が近づく中、「事故に遭わずに長生き」との願いを込める。

遠州弁標語は高齢者事故を減らそうと同委員会が提案した。3年前から標語や注意点を載せたチラシを敬老の日前後に配布し、本年度からは区民だよりも標語の掲載を始めた。

高齢者啓発ひとひねり

遠州弁標語は毎年更新し、今年はこうれいしゃけいはつ

用を訴えた。端を意味する方言「ころ」を使った「道路は中に一時停止しない自転車の多さに驚いた。その思いをすごくひどい様子を表す時によく発する「どやばいら」を使つて、「どやばいら」一時不

停止」多すぎると表現した。反射材暗い夜道でばかり立つ」を考えた矢崎真衣

さん（28）は、「浜松市東区には「すこ」など強調を意味する遠州弁「ばか」を使い、日没が早くなる時期の反射材利

（浜松総局・青島英治）

遠州弁を使った交通安全標語の一例

- 青信号 ちゃっと（すぐに）渡るは 危ないだに～
- 近道と ななめ横断 危ないに
- ほいあんた そこは渡っちゃ いかん場所
- 反射材 着けなきゃそんそん 光るだに～
- 信号機 きいいない（黄色い）時は 止まること



遠州弁の交通安全標語について意見を交わす交通安全指導員
＝浜松市中区の交通安全協会浜松東地区支部会館

2016年9月16日 朝刊

①交通安全標語の中の遠州弁はどうでしょう。

[]

②方言を使うと、どんな感じがしますか。

[]

③交通安全標語を自分の住んでいる土地の方言で作ってみましょう。

[]

年組名前

（小学校高学年・中学校・高校 道徳・総合）